

# Top message

## トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第38期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い感染者が急速に増加したことから、国内では昨年4月に緊急事態宣言が発令され、一旦は減少傾向が見られたものの同宣言の解除後には再び増加に転じ、さらには本年1月には2回目の緊急事態宣言が発令されるなど、極めて不安定な状況の中で推移いたしました。こうした中、政府による各種の経済政策の効果などから一時は回復の兆しが見られましたが、一部の業種においては極めて厳しい状態が継続しており、さらにはより感染力の強い変異株の発生と感染者の急速な増加が見られるなど、依然として先行き不透明な状況が続いており、これらは海外の諸地域においても同様の様相を呈しております。

このような情勢のもと当社グループでは、新型コロナウイルスの影響に伴うイベント自粛や渡航制限など国内海外ともに思うような営業活動ができない中、Web会議ツールなどを有効に活用するなどして、「EnduraPro」 「EnduraPro PLUS」を筆頭に「4×4 DAMPER SPORT」や「STREET ADVANCE Z4」、また「FLEX Z」などの定番製品も合わせた販売活動の強化にグループ丸となって力を注いでまいりました。また、国内海外の各地域特性に適した各種多様な販売キャンペーンにより需要のてこ入れを図る一方で、新規に制作した展示装置による顧客訴求力の高い売場作りにも取り組んでまいりました。

なお、上期に見られた海外の一部の地域における外出禁止や補助金等によるいわゆる巣ごもり需要一巡後も、前述の「EnduraPro」 「EnduraPro PLUS」を展開するプレミアム・リプレースメント市場を中心に、アフターマーケットは国内海外ともに順調に推移しているという手応えを感じております。

他方で、事業の継続を図りつつも従業員の安全を最優先として、緊急事態宣言期間中は元より普段からも勤務中の常時マスク着用や定期的な体温測定、またこまめなアルコールでの手指消毒に加え、積極的な在宅勤務、時差出勤その他の徹底した感染対策を実践してまいりました。

製品開発におきましては、「EnduraPro」および「EnduraPro PLUS」の製品競争力の一層の強化を目指したラインアップの継続的な拡充と合わせて、定番製品のてこ入れについても力を注ぎました。

新規開発としては、内部構造の新設計をおこない従来品を上回る強度を持った新製品の販売を開始するとともに、モータースポーツ向けの専用部品では、スピーディな開発と供給体制により、各カテゴリーにおいて優秀な成績を収めることにも寄与いたしました。

また、VA・VE活動によるさらなる原価低減にも引き続き注力する一方で、次世代製品に向けた開発も並行して推し進めてまいりました。

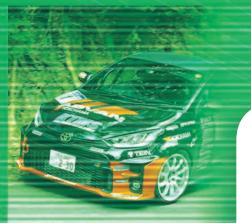
これらの結果、当連結会計年度の売上高は4,719百万円と前期と比較し増収となりました。また、損益の面においては持続的な売上総利益率の改善と合わせて営業活動の自粛などで販売費及び一般管理費が前期と比べて減少したことなどから営業利益は951百万円となりました。なお、経常利益は為替差損益の影響や一部の海外拠点における政府からの助成金収入もあり1,120百万円、また親会社株主に帰属する当期純利益は818百万円と各々増益となりました。

株主の皆様の変わらぬご支援にあらためて感謝を申し上げますとともに、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

代表取締役社長

市野 諒



株主・投資家の皆様へ

第38期

株式会社 ティン  
決算のご報告

2020年4月1日から2021年3月31日まで



**TEINI**  
For Your Driving Pleasure

ティンの信頼と実績の象徴、「ダンパッチ」です。



## 財務情報

### ■ 連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2020年3月31日現在	当連結会計年度 2021年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	2,801	3,567
固定資産	3,295	3,647
有形固定資産	2,903	3,180
無形固定資産	17	20
投資その他の資産	373	445
<b>資産合計</b>	<b>6,096</b>	<b>7,214</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	859	1,228
固定負債	1,687	1,537
<b>負債合計</b>	<b>2,546</b>	<b>2,765</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,689	4,419
資本金	217	217
資本剰余金	215	215
利益剰余金	3,729	4,459
自己株式	△473	△473
その他の包括利益累計額	△139	29
為替換算調整勘定	△139	29
<b>純資産合計</b>	<b>3,549</b>	<b>4,449</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>6,096</b>	<b>7,214</b>

### ■ 連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 2019年4月1日から 2020年3月31日まで	当連結会計年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>4,229</b>	<b>4,719</b>
売上原価	2,441	2,579
売上総利益	1,787	2,140
販売費及び一般管理費	1,220	1,189
<b>営業利益</b>	<b>566</b>	<b>951</b>
営業外収益	44	178
営業外費用	79	9
<b>経常利益</b>	<b>530</b>	<b>1,120</b>
特別利益	1	0
特別損失	2	5
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>529</b>	<b>1,115</b>
法人税等	128	297
当期純利益	401	818
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>401</b>	<b>818</b>

## POINT

#### ※流動資産について

流動資産の内、現金及び預金が増益に伴い増加し、また売上増に対応するため商品及び製品が増加しております。

#### ※固定資産について

中国工場での設備投資に伴い、固定資産の内、有形固定資産の建物及び構築物ならびに機械装置及び運搬具が増加しております。

#### ※流動負債について

増益に伴い、流動負債の内、未払法人税等が増加しております。

#### ※営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について

持続的な売上総利益率の改善と合わせ、営業活動の自粛などで販売費及び一般管理費が前期と比べて減少したことなどから営業利益は増益となりました。また為替差損益の影響や一部の海外拠点における政府からの助成金収入により経常利益、および親会社株主に帰属する当期純利益についても各々増益となりました。

### ■ 売上高（連結）

単位：百万円



### ■ 経常利益（連結）／売上高経常利益率（連結）

単位：百万円

単位：%



## 今後の見通し

今後の当社グループを取り巻く経営環境につきましては、米国における新大統領の政策運営や、米中間の貿易摩擦に伴い減速感が強まる中国経済の行方、またその他の新興国の経済成長の推移、加えてそれらの先行き不透明感が国内景気に与える影響、さらには新型コロナウイルスのワクチン接種の普及で事態の終息が期待される反面、より感染力の強い変異株の感染拡大やワクチンの有効性に対する懸念など、依然として予断を許さない状況が続くものと考えられます。

当社グループの属するカーアフターマーケットにおきましても同様に、長期化が懸念される新型コロナウイルスとの戦いから、先行きの見通しにくい状況が続くものと思われる一方で、国内海外ともに現時点でのアフターマーケットにおける需要は堅調に推移しているという手応えも感じております。

このような中、当社グループといたしましては、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつも、前述のように業績への影響は限定的であると考え、人々の価値観や行動様式の変化がもたらされる新しい時代に向けて、引き続き新たな成長と財務体質の強化を図るべく、「EnduraPro」「EnduraPro PLUS」のラインアップの拡充に傾注するとともに、多様化するユーザーのニーズに適合する各種ショックアブソーバー製品群の充実と販売活動をより一層強化し売上の向上に努めてまいります。また当社グループでしか生み出せない付加価値の創造により需要喚起を図るとともに、内製化の推進やフレキシブルな生産体制をさらに強化し、あわせて品質向上も推し進めてまいります。

以上により、第39期の連結業績といたしましては、売上高4,903百万円、営業利益913百万円、経常利益957百万円、親会社株主に帰属する当期純利益685百万円を見込んでおります。

## 主力製品



写真はTOYOTA プリウス用

### 「EnduraPro」「EnduraPro PLUS」

純正ショックアブソーバーと同形状としながらも、各部の強度や容量アップを図ることで純正品以上の剛性や耐久性を確保。またハイドロ・パンプ・ストッパー(H.B.S.)の搭載により、車の挙動を乱す衝撃を吸収することで乗り心地も向上。補修交換として純正スプリングとの組み合わせで標準車高を維持しながらもハンドリングの向上が可能なプレミアム・リプレイスメントダンパー。

「EnduraPro PLUS」では、さらに16段階の伸/縮同時減衰力調整機構を搭載することで減衰力調整を車内から簡単におこなえるEDFCシリーズにも対応し様々なセッティングを楽しむことも可能。

※一部車種は非対応



写真はSUBARU フォレスター用

### 「EnduraPro HC PLUS」

設定車高を純正車高から約20mmアップとすることでロードクリアランスを確保し、市街地からアウトドアの目的地での荒れた路面、またオフロードや轍の多い道、雪道走行などでの安定性や乗り心地の改善を提供。上述の「EnduraPro PLUS」の派生製品としてスベックも踏襲しており、ハイドロ・パンプ・ストッパー(H.B.S.)や16段階の伸/縮同時減衰力調整機構、EDFCシリーズにも対応し、優れた基本性能とリーズナブルな価格を両立。

※一部車種は非対応

## 株式情報

### ■ 株式情報 (2021年3月31日現在)

発行済株式の総数 6,652,250株

株主数 1,068名

大株主 (上位10位)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社イテノホールディングス	1,832,000	35.2
市野 諒	920,300	17.7
藤本 吉郎	520,700	10.0
MSIP CLIENT SECURITIES	315,700	6.0
日本生命保険相互会社	166,400	3.2
大西 康弘	150,000	2.8
市野 澄恵	121,500	2.3
市野 ルリ子	86,000	1.6
小島 恵美子	84,900	1.6
市野 景	69,500	1.3

(注) 持株比率は、自己株式(1,458,687株)を控除して計算しております。

## ■ 会社概要 (2021年3月31日現在)

商 号	株式会社テイン (TEIN,INC.)
設 立	1985年2月28日
所 在 地	本社工場 横浜市戸塚区上矢野町3515-4 TEL 045-810-5511 (代表) FAX 050-3156-3123 ・製品のお問合せ TEL 045-810-5501 ・IR (投資家向け広報) TEL 045-810-5511 (代表)
資 本 金	2億1,755万円
従 業 員 数	108名 (社外への出向者、契約社員および臨時従業員は 含まず。)
事 業 内 容	自動車用サスペンションを始めとする自動車用品の製品 開発、設計製造、販売および輸入自動車用品の販売。
代 表 者	代表取締役社長 市 野 諒
取 引 銀 行	横浜銀行、みずほ銀行、三井住友銀行
事 業 所	仙 台 営 業 所 仙台市宮城野区萩野町3-13-3 横 浜 営 業 所 横浜市戸塚区上矢野町3515-4 大 阪 営 業 所 兵庫県伊丹市荒牧南4-6-33
関 連 会 社	TEIN U.S.A.,INC. TEIN UK LIMITED 天御香港有限公司 天御遠東国際貿易 (北京) 有限公司 天御減振器制造 (江蘇) 有限公司 宿遷天野貿易有限公司 TEIN Sales (Thailand) Co.,Ltd.

## ■ 役員 (2021年3月31日現在)

代表取締役社長	市 野 諒
代表取締役専務	藤 本 吉 郎
専務取締役	古 林 賢 泰
取 締 役	那 須 須 司
取 締 役	武 井 共 夫 弁 護 士
取 締 役	後 藤 浩 昭
常 勤 監 査 役	福 元 哲 朗
監 査 役	原 真 志 公 認 会 計 士
監 査 役	黒 木 一 郎
監 査 役	佐 藤 臣 夫 税 理 士

- (注) 1. 取締役武井共夫氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役福元哲朗氏、監査役原真志氏、監査役黒木一郎氏および監査役佐藤臣夫氏は、社外監査役であります。

### メールサービスについてのご案内

投資家の皆様の利便性向上を図るため、「情報開示サービス」をおこなっております。  
ご利用方法は、下記当社ホームページでご確認ください。

[https://www.tein.co.jp/investors/irtekiji\\_touroku.html](https://www.tein.co.jp/investors/irtekiji_touroku.html)

## ■ 株主メモ

事 業 年 度	4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	6月に開催します。
基 準 日	
定時株主総会の議決権	3月31日
期 末 配 当 金	3月31日
中 間 配 当 金	9月30日 (中間配当金の支払いをおこなう場合)
株 主 名 簿 管 理 人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
(郵便物送付先) (お問 合 せ 先)	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 (ご照会) ☎0120-707-843
各 種 手 続 の お 申 出 先	未払い配当金のお支払い ・株主名簿管理人にお申出ください。 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等 ・証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出 ください。 ・証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機 関である日本証券代行へお申出ください。

特別口座でのお手数用紙のご請求はインターネットでもお受け  
いたしております。  
ホームページアドレス <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>  
(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

単 元 株 式 数	100株
株 式 取 扱 手 数 料	単元未満株式買取手数料 株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額
公 告 の 方 法	電子公告 下記ホームページに掲載いたします。 <a href="https://www.tein.co.jp/ir.html">https://www.tein.co.jp/ir.html</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公 告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

